

2021年度 決算説明会

2022年5月23日

広栄化学株式会社
代表取締役社長 西本 麗

目 次

100年の技術と信頼を明日へ



◆	1 .会社概要		2
◆	2 .2021年度トピックス		7
◆	3 .2021年度決算概要		10
◆	4 .2022年度業績予想		17
◆	5 .配当政策		23
◆	6 .中期経営計画進捗		25

◆	1.会社概要		2
	2.2021年度トピックス		7
	3.2021年度決算概要		10
	4.2022年度業績予想		17
	5.配当政策		23
	6.中期経営計画進捗		25

1. 会社概要

100年の技術と信頼を明日へ



(1) 会社概要

①設立 1917年6月17日

②資本金 2,343百万円

③社員数 401名 (2022年3月末)

④事業所

東京本社：
東京都中央区日本橋小網町1番8号

千葉工場・千葉研究所：
千葉県袖ヶ浦市北袖25番地

ベルギー：
駐在員 (住友化学ヨーロッパ出向)



千葉工場・千葉研究所



東京本社

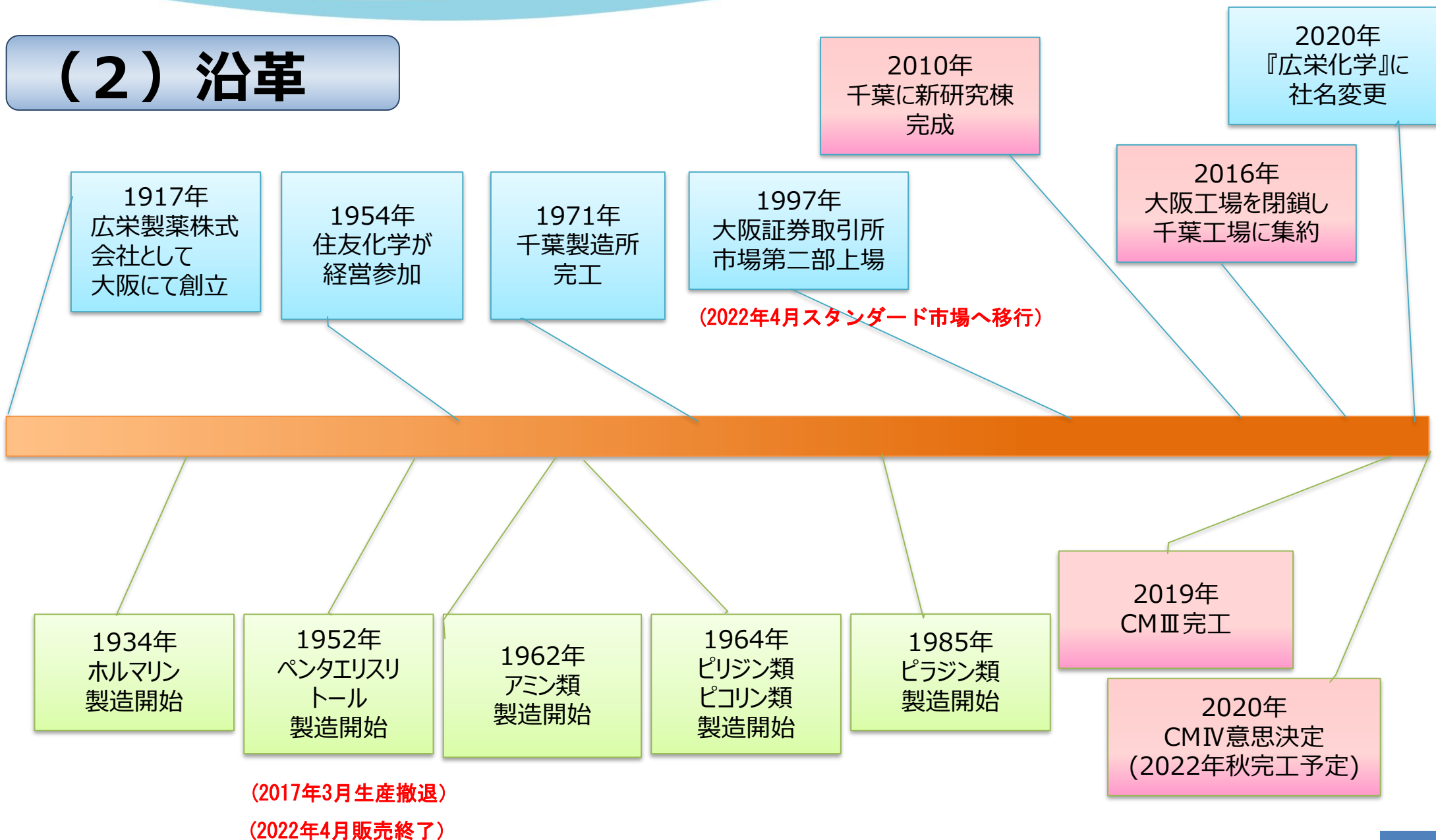


1. 会社概要

100年の技術と信頼を明日へ



(2) 沿革



1. 会社概要

(3) 事業内容 ① 基盤製品

広栄化学は、含窒素化合物のパイオニアです

ピリジン類

主な用途

医薬原料・農薬原料
電材関連・溶剤等

国内唯一の合成
ピリジンメーカー



ピラジン類

主な用途

結核薬ピラジナミド

ピラジナミド原料CPZは、
世界シェアNo.1



アミン類

主な用途

界面活性剤・樹脂
塗料・潤滑油
ゴム薬等

数十種類の特殊アミン製造
少量多品種対応



ホルマリン

主な用途

接着剤・塗料・樹脂・酸化
防止剤等

多価アルコール類

主な用途

建造物・自動車用塗料
インキ・コーティング
接着剤・潤滑油等

2022年4月をもって
販売代理店契約終了

1. 会社概要

(3) 事業内容 ②カスタム合成製品

医農薬中間体

培ってきた含窒素化合物の合成技術を生かし、
独自工業化プロセスを開発

国内外多数の製薬会社に
医薬中間体を供給

有機金属触媒

ポリオレフィン用重合触媒
であるメタロセン触媒に代表される
有機金属触媒を製造

有機合成技術と禁水・禁酸素
条件を組み合わせる
プロセスを構築

その他受託製品

電子材料関連製品等

(3) 事業内容 ③機能性製品

イオン液体

主な用途

帯電防止剤・電解液
溶媒等



ウレタン関連製品

URECKO®
KONPUS®

カスタム合成製品・機能性製品は、主にマルチプラント（CMⅠ、CMⅡ、CMⅢ）で生産
2022年秋には、新たにマルチプラント4系列目（**CMⅣ**）が完工。

目次

100年の技術と信頼を明日へ

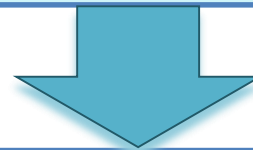


1 .会社概要		2
◆ 2 .2021年度トピックス		7
3 .2021年度決算概要		10
4 .2022年度業績予想		17
5 .配当政策		23
6 .中期経営計画進捗		25

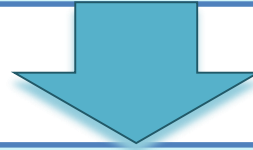
2. 2021年度トピックス

ペンタエリスリトール類 販売代理店契約終了

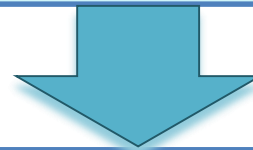
1952年12月ペンタエリスリトール生産開始（大阪工場）



2017年3月ペンタエリスリトール生産撤退



2017年4月 パーストープ社へ ペンタエリスリトール類を事業譲渡
パーストープ社製品 代理店販売開始



2022年4月パーストープ社製品 販売代理店契約終了

【注】

- ・当期から、「収益認識に関する会計基準」等が適用され、ペンタエリスリトール類の販売に係る売上高は手数料収入のみを計上しております。なお、**代理店契約終了による業績（売上高、損益）への影響は軽微**であります。

2. 2021年度トピックス

100年の技術と信頼を明日へ



中期経営計画策定（2022年度-2024年度）

中期経営計画
(2022年度-2024年度)

100年の技術と信頼を明日へ
KOCI SINCE 1917

『伝承と挑戦』KX2.0

*KX2.0: Striving for transformation utilizing
knowledge and experience of over 100 years*

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



2022年3月17日
広栄化学株式会社

本年3月17日公表

(※)
本年3月17日開催の中期経営
計画説明会に関する説明会資料
、説明会動画、質疑応答集は、
当社ホームページより閲覧可能で
す。

<https://www.koeichem.com>

目 次

100年の技術と信頼を明日へ



1 .会社概要		2
2 .2021年度トピックス		7
◆ 3 .2021年度決算概要		10
4 .2022年度業績予想		17
5 .配当政策		23
6 .中期経営計画進捗		25

3. 2021年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(1) 2021年度決算ハイライト

(単位：百万円)

	2021年度 実績	2020年度 実績	増減 (前年比)	2021年度 (公表予想)	2021年度 (中期計画)
売上高	(※) 17,296	17,589	△293	16,500	20,000
営業利益	508	1,484	△976	500	2,000
経常利益	802	1,678	△875	650	
当期純利益	940	1,851	△910	900	
1株当たり利益	192.32円	378.51円	△186.19円		
1株当たり配当金	100.00円	100.00円	-		

(※)当期首から、「収益認識に関する会計基準」等を適用し、代理人として行う取引において対価の純額を表示している等、**当期における売上高(2,429百万円)が減少**しております。

3. 2021年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(2) 売上高 … 製品グループ別【前期比】

(単位：百万円)

	2021年度 実績	2020年度 実績	増 減	増減の主な内訳
医農薬化学品	6,589	6,784	△194	コロナウイルス治療薬関連 (↘) 結核薬原料 (↘) 農薬関連 (↗)
機能性化学品	(※) 7,862	6,766	1,095	触媒関連 (↗) 光学材料関連 (↗) イオン液体 (↗) (※)「収益認識に関する会計基準」等の適用による影響 (△1.7億円) (↘)
そ の 他	(※) 2,844	4,038	△1,194	樹脂・添加剤等 (↗) CO2固体吸収材 (↗) (※)「収益認識に関する会計基準」等の適用による影響 (△22.6億円) (↘)
合 計	17,296	17,589	△293	(数量差△1,088、売価差+795)

3. 2021年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(3) 売上高 … 輸出地域別【前期比】

(単位：百万円)

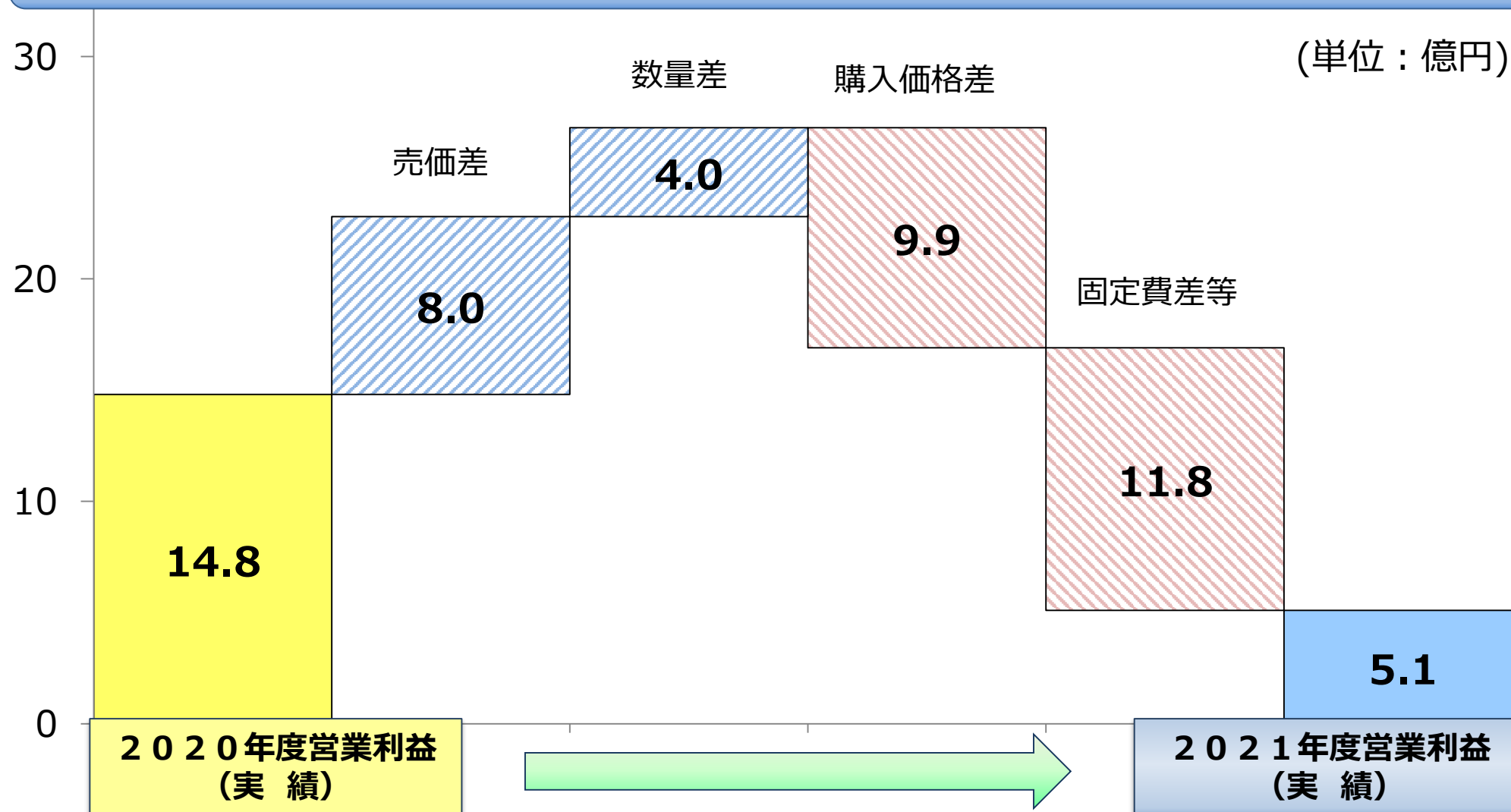
	2021年度 実績	2020年度 実績	増 減	増減の主な内訳
ア ジ ア	5,624	4,618	1,005	触媒関連 (↑) 農薬関連 (↑)
北 米	1,538	1,376	162	農薬関連 (↑)
欧 州	2,486	2,493	△7	
そ の 他	8	6	1	
輸 出 合 計	9,657	8,494	1,163	(円安によるプラス影響+351)
為替レート (円/米ドル)	(112.86)	(105.93)	(6.93)	
輸出売上比率	55.8%	48.3%	+7.5%	

3. 2021年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(4) 営業利益分析【前期比】



3. 2021年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(5) 貸借対照表

(単位：億円)

借方科目	(2021年3月末)	(2022年3月末)	増 減	貸方科目	(2021年3月末)	(2022年3月末)	増 減
[資産の部]	320.6	347.1	26.5	[負債の部]	99.9	127.7	27.8
流動資産	129.4	128.8	△0.6	流動負債	54.4	60.3	5.9
固定資産	191.2	218.3	27.1	固定負債	45.5	67.4	21.9
				[純資産の部]	220.7	219.4	△1.3
合 計	320.6	347.1	26.5	合 計	320.6	347.1	26.5

●主な増減要因（資産）

・固定資産（+27.1億円）

CMIV設備投資 +26億円
 アミノプラント再構築 +6億円
 武田薬品工業株式売却△6億円
 住友精化株式売却 △1億円

●主な増減要因（負債）

・流動負債（+5.9億円）

設備未払金 +5億円

・固定負債（+21.9億円）

長期借入金 +24億円

3. 2021年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(6) キャッシュ・フロー【推移】

(単位：億円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
営業キャッシュ・フロー	9.8	7.3	7.8	19.2	26.2
投資キャッシュ・フロー	41.5	△24.6	△22.3	△39.1	△41.9
フリー・キャッシュ・フロー	51.3	△17.3	△14.5	△19.9	△15.7
財務キャッシュ・フロー	△14.6	△3.0	△2.8	15.6	18.6
現金等同等物増減	36.5	△20.4	△17.4	△4.3	3.2
期末現預金残高	44.6	24.2	6.9	2.6	5.8
期末借入金残高	8.3	8.3	8.5	28.5	52.5

目次

100年の技術と信頼を明日へ



1 .会社概要		2
2 .2021年度トピックス		7
3 .2021年度決算概要		10
◆ 4 .2022年度業績予想		17
5 .配当政策		23
6 .中期経営計画進捗		25

4. 2022年度業績予想

100年の技術と信頼を明日へ



(1) 前提条件

- 為替前提

- ・¥125.00/\$ (5/20現在 : 127.85)

- ・¥135.00/€ (5/20現在 : 135.19)

- 原料価格前提

- ・国産ナフサ価格 ¥82,000/kl (直近予想 : ¥86,000)

- ・メタノール価格 \$420.00/ton (直近予想 : \$420.00)

- その他

- ・CMIVプラント : 2022年秋より稼働

- ・定期修繕 : 2023年2月

4. 2022年度業績予想

100年の技術と信頼を明日へ



(2) 2022年度業績予想【概要】

(単位：百万円)

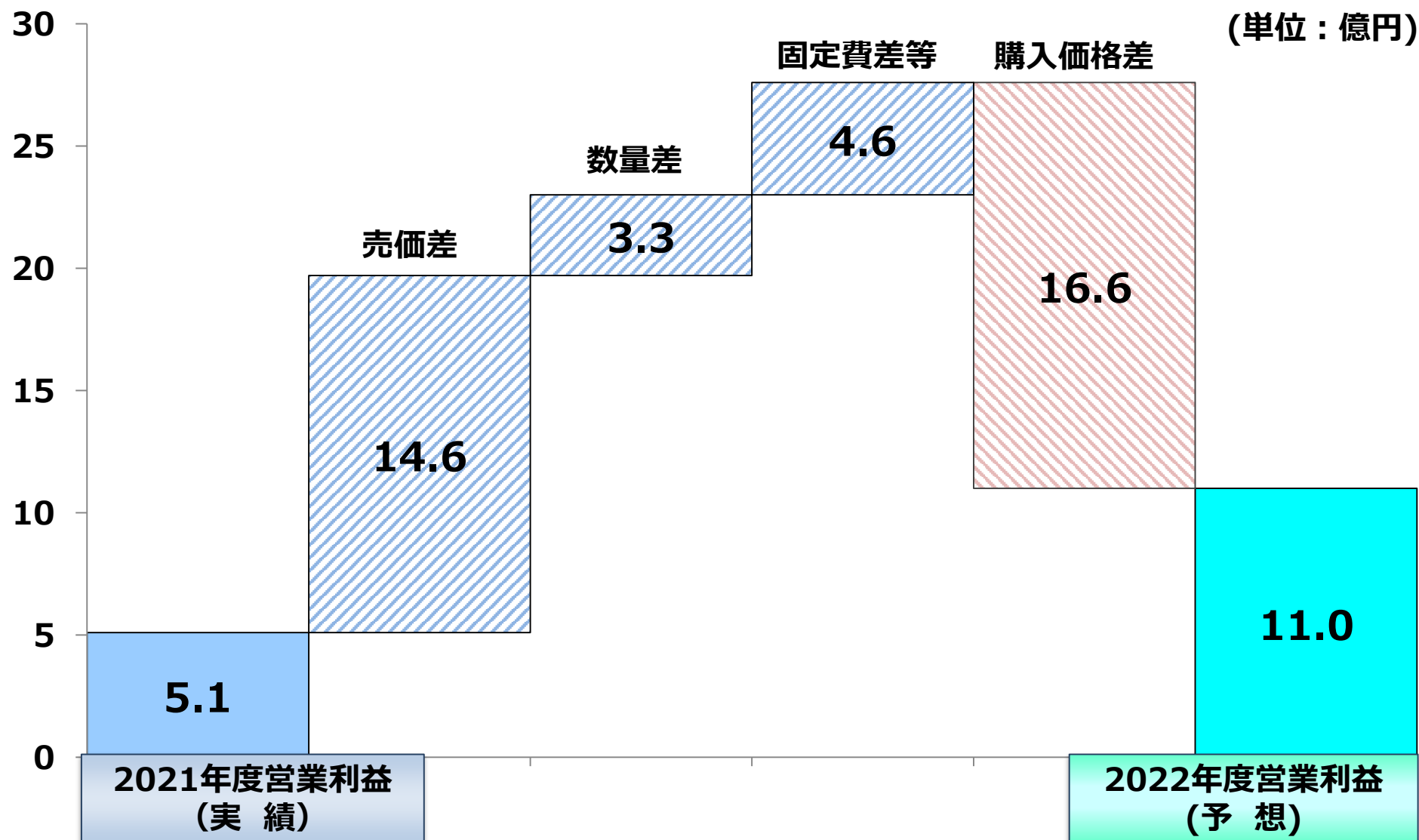
	2022年度 予 想	2021年度 実 績	増 減 (前期比)	2022年度 中期計画
売 上 高	19,500	17,296	2,204	18,500
営 業 利 益	1,100	508	592	1,300
経 常 利 益	950	802	148	
当期純利益	820	940	△120	1,000
1株当たり配当金	100円	100円	—	

4. 2022年度業績予想

100年の技術と信頼を明日へ



(3) 2022年度予想営業利益分析【前期比】

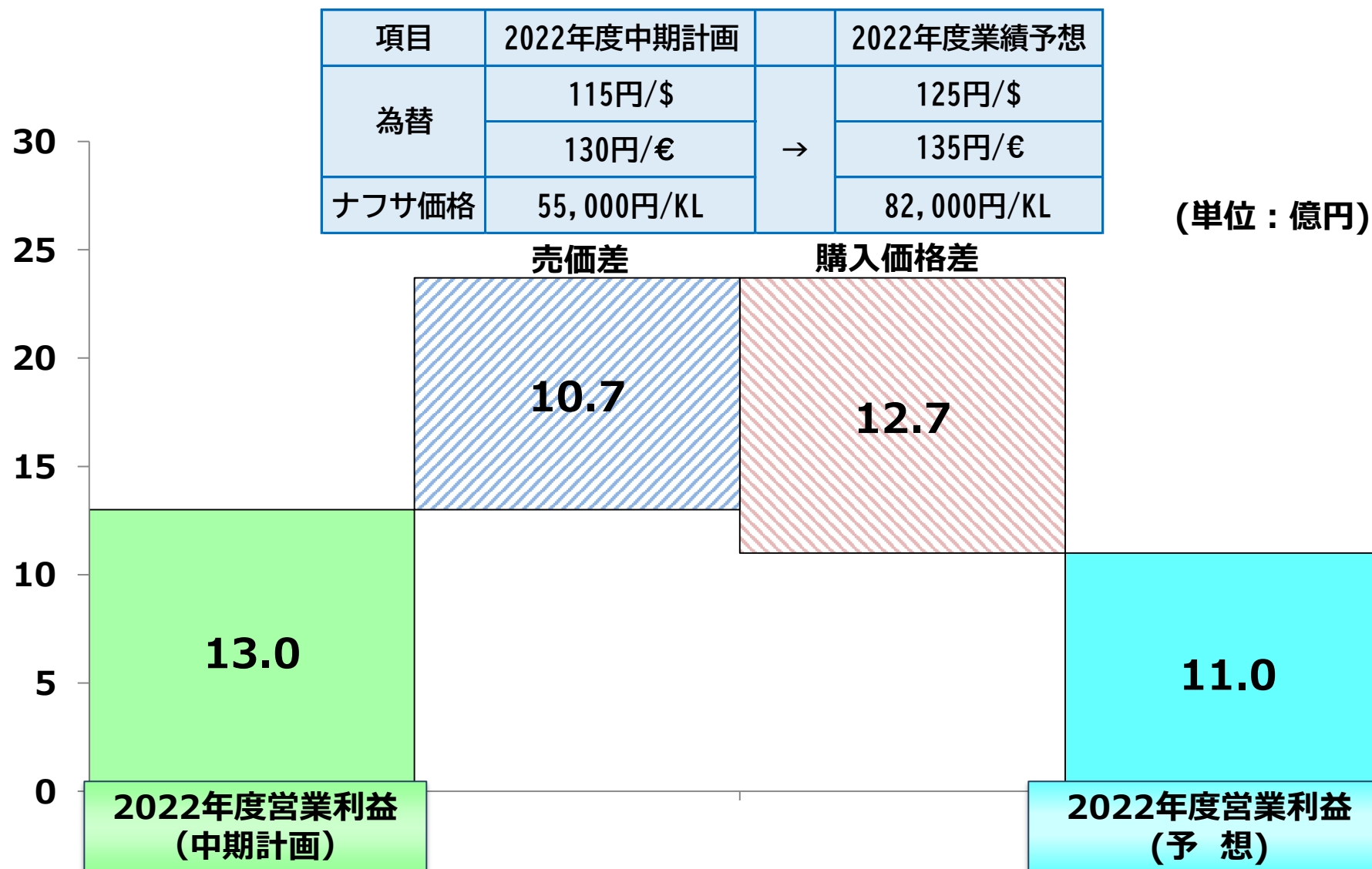


4. 2022年度業績予想

100年の技術と信頼を明日へ



(4) 2022年度予想営業利益分析【中期比】

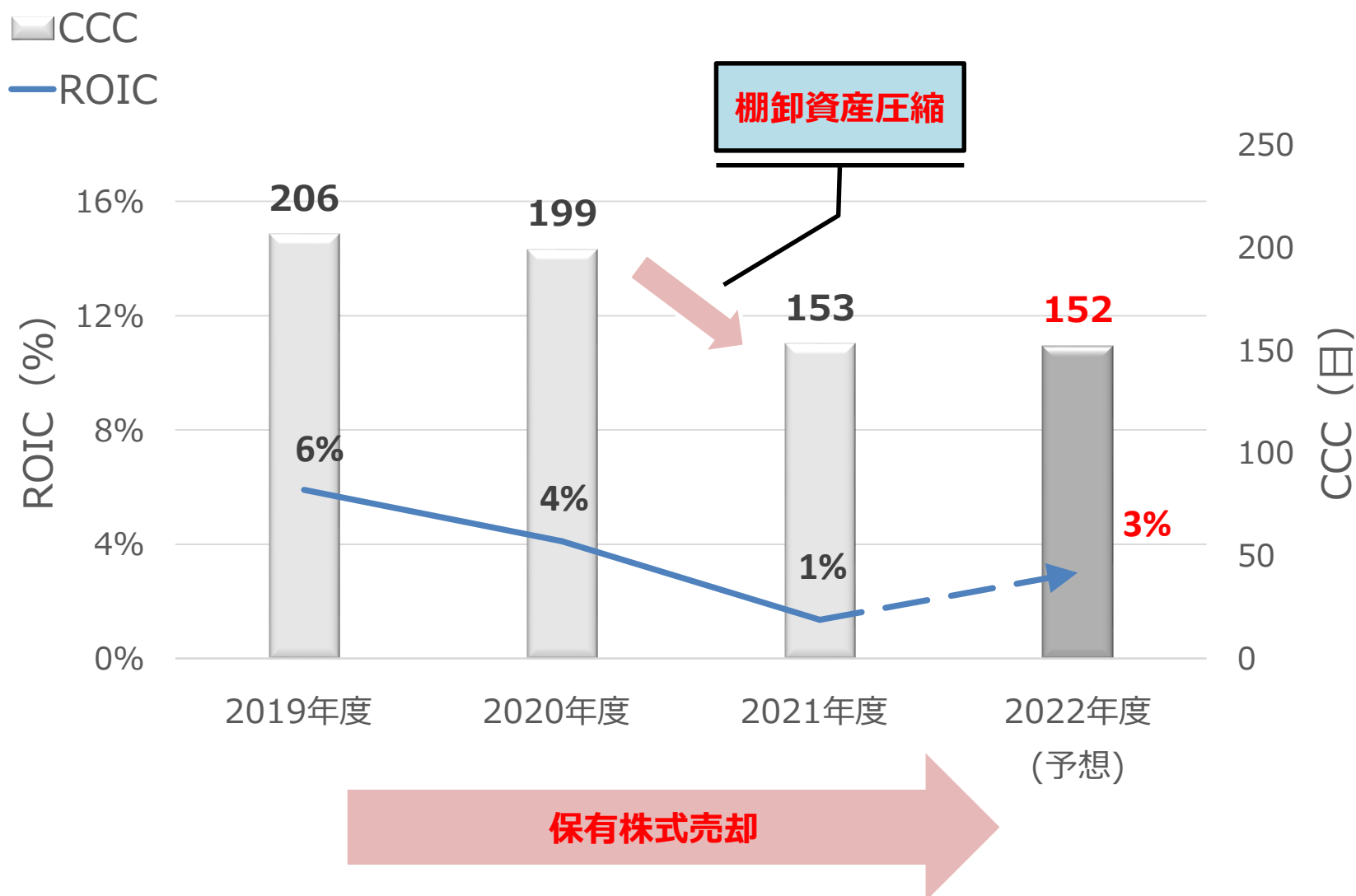


4. 2022年度業績予想

100年の技術と信頼を明日へ



(5) 2022年度経営指標【推移】



目 次

100年の技術と信頼を明日へ



1 .会社概要		2
2 .2021年度トピックス		7
3 .2021年度決算概要		10
4 .2022年度業績予想		17
◆ 5 .配当政策		23
6 .中期経営計画進捗		25

5. 配当政策

100年の技術と信頼を明日へ

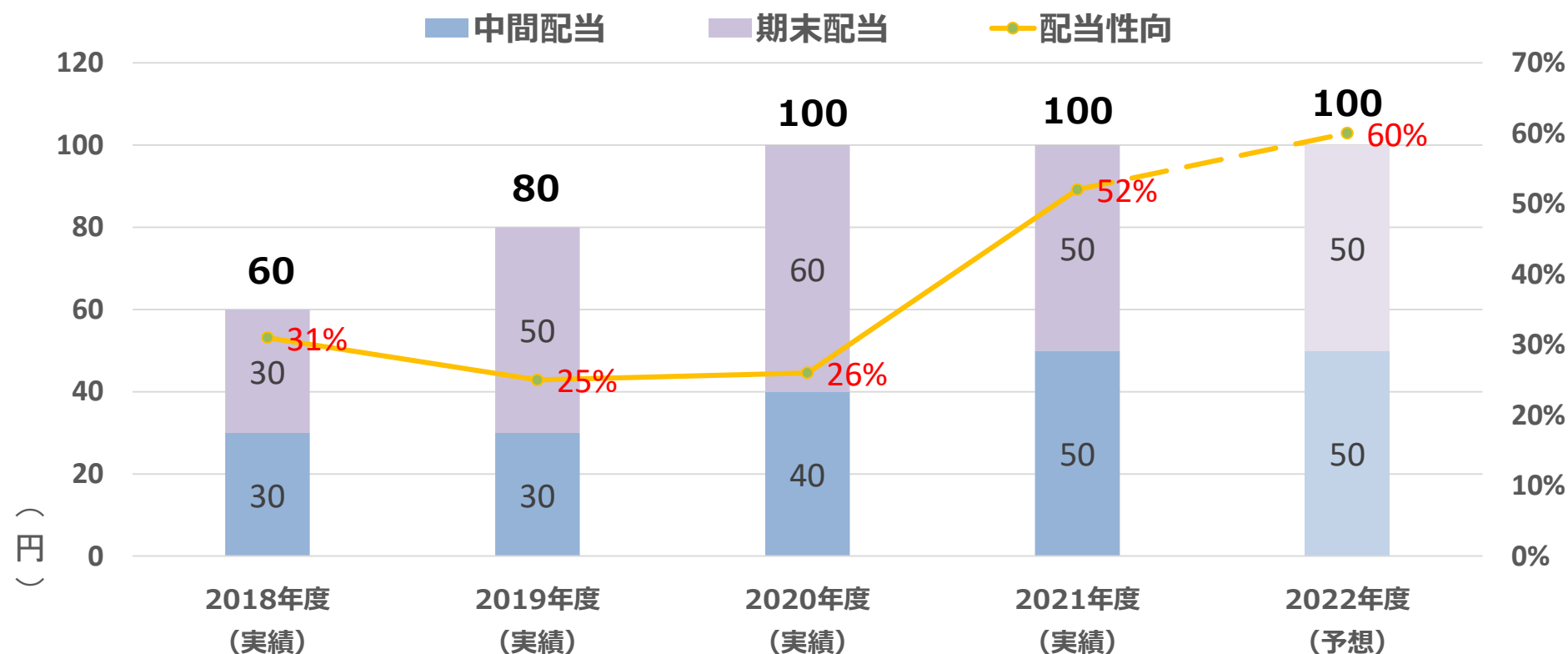


(1) 配当政策

配当は、株主の長期的かつ安定的な利益の確保と、会社業績の状況、将来的な事業展開に備えるための株主資本の充実などを総合的に勘案し決定する。

配当性向については、原則 50%を目途に株主還元を実施する方針とする。

(2) 配当実績予想



目 次

100年の技術と信頼を明日へ



1 .会社概要		2
2 .2021年度トピックス		7
3 .2021年度決算概要		10
4 .2022年度業績予想		17
5 .配当政策		23
◆ 6 .中期経営計画進捗		25

6. 中期経営計画進捗

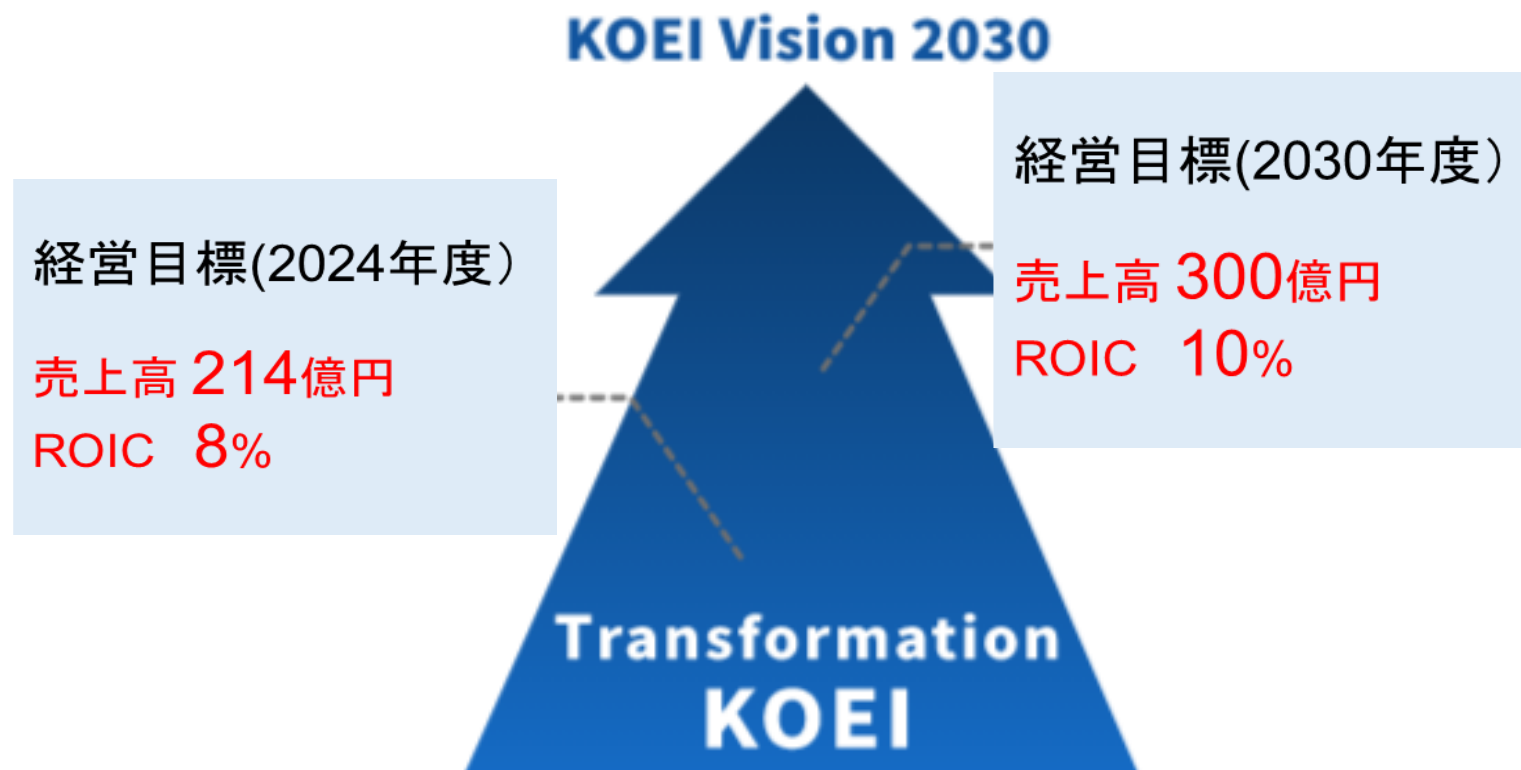
100年の技術と信頼を明日へ



(1) 目指すべき方向性

KOEI Vision 2030

製造・販売・研究・間接部門すべての部門でイノベーションを加速し、新たな企業価値の創造を通じ自ら持続的な成長を実現するとともに、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

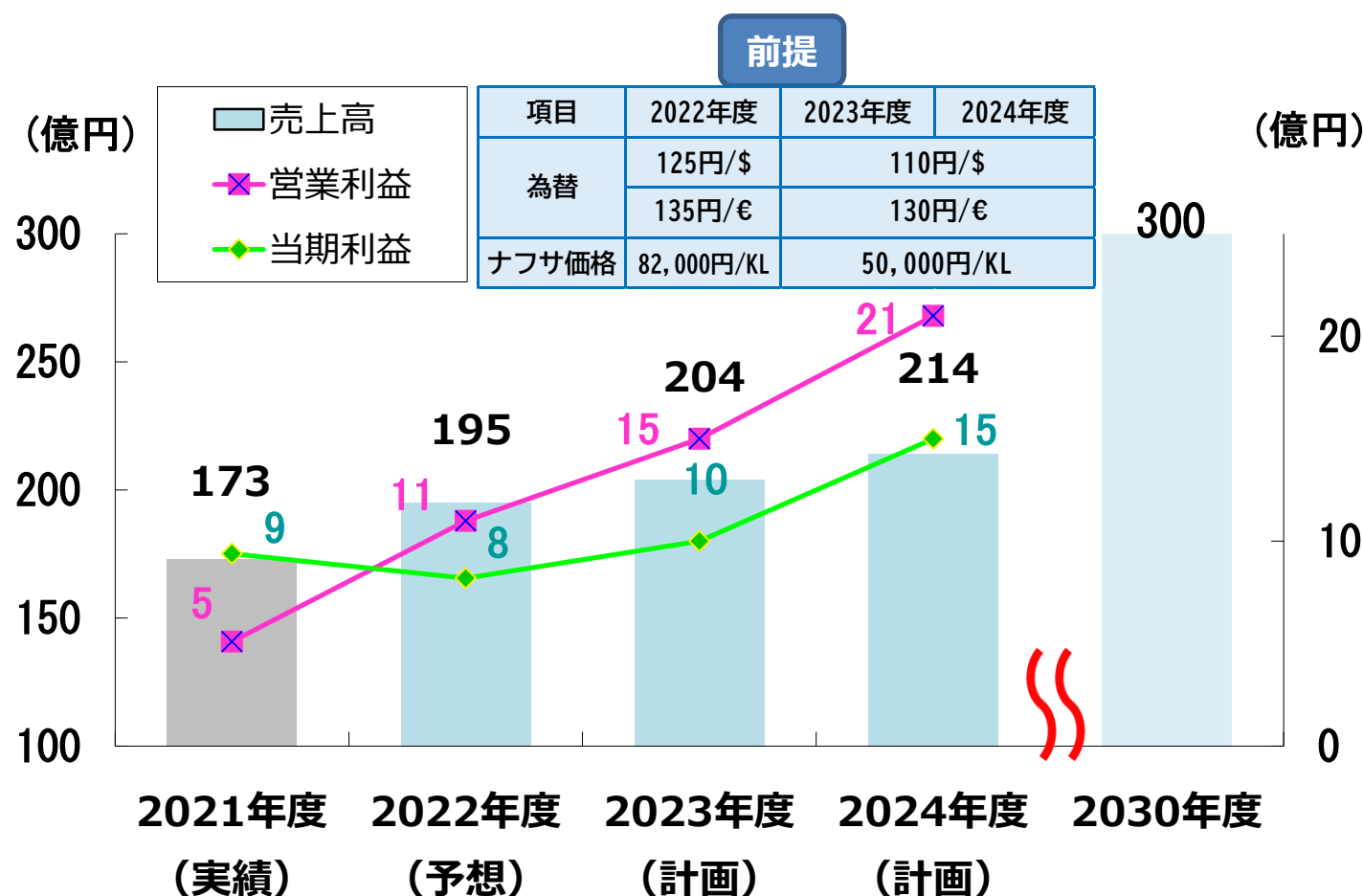


6. 中期経営計画進捗

100年の技術と信頼を明日へ



(2) 業績計画【推移】



業績目標 (2024年度)

売上高 214億円
営業利益 21億円

経営指標 (2024年度)

ROIC 8%
CCC 151日

EBITDA 23億円 36億円 45億円 53億円

6. 中期経営計画進捗

100年の技術と信頼を明日へ



(3) 2022年度業績達成に向けての課題

課 題	対 応 策
原料価格高騰	有利購買の徹底、製品売価への転嫁徹底等の実行
イノベーション加速	住友化学とのシナジー追求、外部との共同研究等の推進
D X	PLANT/R&D/SCM/OFFICE 各プロジェクト推進
M X	ROIC/CCC改善に向けたアクションプランの策定と実行
G X	新ガバナンス体制の効率的運用（新内部統制委員会、新サステナビリティ委員会、経営会議の機能強化）
S X	カーボンニュートラルに向けた工程表策定
人材育成	マネジメント力強化、中堅若手社員の早期育成

6. 中期経営計画進捗

100年の技術と信頼を明日へ



(4) 進展① セルロース溶解用新規イオン液体の開発

セルロースを温和な条件（室温）で高濃度に溶解可能なイオン液体の開発に成功（当社従来品との比較）

繊維やフィルムへの成形などが容易になり、環境に優しい素材として利用可能です



低エネルギーでのセルロース溶解を実現することで、
カーボンニュートラルな資源循環プロセスへ貢献してまいります

6. 中期経営計画進捗

100年の技術と信頼を明日へ



(4) 進展② 大阪大学大学院とアミン製造用の金属ナノ粒子触媒の開発 及び量産化検討を目的として共同研究を開始

大阪大学大学院基礎工学研究科化学工学領域グリーン化学工学グループ 満留敬人 准教授と、アミン化合物製造用の金属ナノ粒子触媒の開発並びに量産化検討に関して共同研究を開始いたしました。

従来のアミン製造プロセスは過酷な反応条件で実施されることが多く、エネルギー面、安全面で課題があります。

本共同研究を通じ、高活性・高選択性の触媒を開発することで、温和な反応条件で実施でき、安全性が高く、グリーン・サステナブルなアミン製造プロセスへの進化を目指します。



RESEARCH & DEVELOPMENT DIVISION



6. 中期経営計画進捗

100年の技術と信頼を明日へ



(4) 進展③ 『さらだぼーる農園』の開園

将来の価値創造に向けた重要課題の一つ
【ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン】

地域の障がい者雇用の更なる促進につながる取組みとして、
『さらだぼーる農園』 を開園

<『さらだぼーる農園』の由来>

障がい者と健常者、ジェンダーなどの垣根をなくして協力し合いながら働く姿を、多様な野菜が一つの器（ぼーる）のなかで混ざりあって、さらに美味しくなる様子に例えて表しています。

<概要>

場所：千葉県市原市

社員：3名（障がいのある社員2名
健常者1名）



播種の様子



開園式にて集合写真

ご清聴ありがとうございました。

【注意事項】

本資料には、当社に関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、作成時点において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標等が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、研究開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。